

リース方式による LEDの導入について

山本 一恵 議員

質問 電力の消費が多い日本では、逼迫する電力事情を背景に、省エネ対策として、公共施設や防犯灯へのLED照明の導入は、積極的に検討すべき課題といえます。

LED照明のメリットは、電気代の節約、そして、寿命が長いことです。反対にデメリットは、機器の値段が高いということです。こうした、メリットを生かし、デメリットをなくす手法が、リース方式の活用です。

本村でも平成23年から、防犯灯については新規設置や故障による交換により、順次LED照明に切りかえています。ですが、なかなか進んでいないのが現状です。

防犯灯だけでなく、公共施設のLED照明の導入も、積極的に進めるべきだと思います。現在の設置状況、

LED照明の切りかえ計画、リース方式の導入について伺います。

答弁（総務部長） LED

照明になっていく施設は、安中小学校の体育館、職員室、各教室、幼稚園の玄関と遊戯室、本庁舎は議場、村長室、2階会議室です。今後、本庁舎の耐震化の際に、LED化も検討します。

そして、施設全体での電気使用料が年間数千万、メンテナンスで数百万の費用を要することから、節減対策の手段とした、業者切りかえ策にとどまらず、リース方式を選択した場合の負担額と現在の負担額を十分に試算・比較し検討します。

答弁（保健福祉部長） 保

健福祉部内施設は、LED照明を設置していませんが、

今後設置に向けて検討します。

答弁（経済建設部長） 現

時点での防犯灯のLED照明の設置状況は、72基となっています。

平成25年度の重点事業として、未整備の2758基すべてをLED照明に交換することとし、リース方式ではなく、村内の業者に依頼する予定です。これにより電気料金、修繕料が削減され、おおむね6年後には採算がとれる見込みとなります。

答弁（教育次長） 平成25

年度事業として、学校施設環境改善交付金を活用し、木原小学校の普通教室、職員室、体育館、大谷小学校の普通教室、職員室、体育館、美浦中学校の体育館をLED照明に切りかえる予定です。

また、社会教育施設についても、順次LED照明にしていく考えです。

答弁（村長） 防犯灯のLED化については、他の自治体では、設置や電気料金

など半分を地域で負担するところがありますが、本村ではすべて村で負担している。なので、一律でできると思っています。

交換についても、長年地元業者をやっていたので、引き続きお願いができればと考えています。学校関係については、国の交付金が決定次第、進めていきたいと思っています。



LED照明への切りかえを